

あらぶんちよ散歩

vol.068

かんださくまちょう ちょうめ

神田佐久間町一・二丁目

かんだひらかわちょう

神田平河町

“世界のアキハバラ”の中心街でありながら、江戸提灯の工房やお煎餅屋さんなども健在で、“神田らしさ”と今が混在しているエリア。ビルの谷間や裏路地など「え?こんなところに?」と驚くスポットも満載です。



「PLAYER」のイメージキャラクター・ホットドック君(?)と名物・アキバドッグ ¥500。ホットドックはなんと20種類以上!



1丁目はビルの中を、2丁目は裏路地をくまなく散歩すると発見があって面白い

吉野屋商店 吉野由衣子さん

江戸から続く、粋でいなせな江戸提灯の文化

「創業は安政元年、今から約160年前、篤姫の時代ですね。江戸時代、この辺りは旗本長屋で、祖先は家康公について江戸入りした三河の武士だったようです。幕末になり、提灯屋として吉野屋の商いがはじまったと聞いています。手書き文字による江戸提灯を作り続けて、父で7代目になります。父は描き職人として有名で、ご注文を全国からいただいていた。新しくなった歌舞伎座の地下フロアにある大提灯も当社で製作させていただきました。神社の大提灯や、お神輿に掛ける弓張り提灯など、江戸提灯は昔から、江戸の祭りや生

活に欠かせないものでした。今はこのほかにも、お祝い事、記念事、また海外への贈答用として、幅広くご利用いただいています。お1つからでも名入れいたしますので、お気軽にお問い合わせください。また、アキバ色を意識して新しく作った「キャラ提灯」やお土産用のミニ提灯なども人気です。新しい試みも意欲的に取り入れつつ、江戸提灯の文化・伝統をこれからも守っていきたくと思っています」



住所:千代田区神田佐久間町2-13 TEL.03-3863-1623 HP: <http://www.e-yoshinoya.jp/>



一番弟子の描き屋さん。中太弓張の名入れ、紋入れは手書きで8,000円ぐらいから

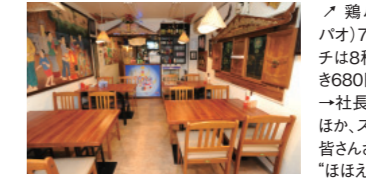


手塚プロのキャラ提灯や歌舞伎座のうちのデザインも、由衣子さんの挑戦のひとつ

バーンチェン

暑い夏にはスパイシーな隠れ家的エスニック店へ

今年2月にできたばかりのタイ料理店。ポピュラーなメニューもあるが、ここではぜひ、シェフ自慢のイサーン料理(東北部の郷土料理)にもトライしてみてください。辛さは日本人向けにマイルドになっているので、激辛が苦手な方にも安心。



住所:千代田区神田佐久間町2-12 TEL.03-3864-5366 営業時間:11:00~14:30 / 17:00~22:30 定休日:日

鶏バジル炒め(ガバオ)750円ほか、ランチは8種類。ドリンク付き680円~ →社長のペーさんは、スタッフは皆さんが「ほほえみの国」の人!

書泉ブックタワー

趣味の街・アキバならではのマニアも納得の品揃え

9フロアある売り場は「趣味の人に喜ばれる、より深い品揃えを」と、2階からはガッツとマニアックに。力を入れているコミックやコンピューター系のほか、5階の乗り物・鉄道コーナーもかなりの充実度。グッズ類の販売も行っている。



↑8/5から「鉄おも」主催の子ども原画展を開催 ↓9階イベントスペースは普段、休憩所としてお使いいただけます」と店長の門井克行さん

住所:千代田区神田佐久間町1-11-1 TEL.03-5296-0051 営業時間:10:00~21:00 定休日:無休



Event 文京区・千代田区 わたしたちだけが知っている まちの魅力アートグランプリ! 開催!

文京区・千代田区の魅力を再発見し、自分たちの手でその魅力を伝えていこうという東京都広域支援型商店街事業。「わたしだけ」が知っている、ちょっとしたまちの魅力や大好きなモノを募集します。楽しいスポットにおすすめのお店、大好きな人、お気に入りの商店街など…。あなたの大好きな文京区、千代田区の魅力を表現してご応募ください!

- 募集部門: ①絵の部門 ②ひとことアピール部門
 - 応募資格: 文京区、千代田区に在住、在勤、在学の方。または出身、居住経験のある方
 - 締め切り: 平成25年9月10日(火)
 - 主催: 文京区商店街振興組合連合会・千代田区商店街振興組合連合会
- ※応募方法など、詳しくはポスター、チラシ、TCNでたびんフォメ等でご確認ください

Topic 江戸の発展を支えた材木問屋が多く商人の町として栄えたエリア

佐久間平八という材木商が住んでいたことが由来という佐久間町。多くの材木問屋が集まっていたため「神田材木町」という通称で呼ばれ、江戸城築城のための材木も佐久間町が供給したという。古い資料を見てみると、江戸時代にはこの界隈から火事が頻発していたという記事も多く残されている。一方、関東大震災の時には住民が一致団結して火事と闘い、30時間に及ぶ命がけのパケツリレーにより町を救ったそうだ。



町の歴史を知ることができ、千代田区各物の町名由来が

1 柏屋

有名人のファンも多い老舗のお煎餅屋さん

創業は大正8年。高速が架かる前は、こちらの屋根の上で干してお煎餅を作っていたとか。「混ぜるとおいしいのよ」と教えてもらった、かきの種と薄焼きののり丹は、なるほど、食感の違いと海苔の風味がくせになる!



↑お煎餅はどれも一袋300円ぐらい。長嶋茂雄さんが好きだというカレー味もおすすめ



住所:千代田区神田平河町1 TEL.03-3866-7482 営業時間:8:00~20:00 定休日:日・祝



↑二代目の中村育穂さん、ヒデ子さん夫妻との会話も楽しみのひとつ

4 麺処MAZERU

メニューは「まぜそば」のみでもリピーター続出の人気店

塩味と醤油味のまぜそばオンリー。食べ応えのある太麺と背脂が特徴の、いわゆる「二郎インスパイア系」だ。トッピングは各種無料で、「ヤサイ ニンニクマシマシカラメ」など、2名物の呪文で注文する人も多い。チーズとニンニクがいいアクセントに。



↑まぜそば700円の全部増し。肉増しの醤油味900円も人気だとか



住所:千代田区神田佐久間町1-14第二東ビル1F TEL.なし 営業時間:11:30~15:00 / 17:30~22:00 定休日:日・祝

↑「ラーメン二郎」の味に惚れ込んでこの業界に飛び込んだという店長の川名宏治さん(右)とスタッフの大野泰さん(左)